

化学物質関連法規に関する 国際情報共有フォーラムで、 講演しました。

NITEでは、化審法および化管法の最新動向や、コンプライアンス支援につながる情報を、国内外に発信しています。2019年3月は情報発信の一環として、NITEとSAHTECHによる日台化学物質管理法規セミナー及び業界誌 Chemical Watchが主催するAsiaHub Summit 2019で、化審法等に関する講演をしました。

日台化学物質管理法規制セミナー

台湾經濟部主催

日時：2019年3月8日

場所：台北、

中國文化大學推廣教育部大夏館



会議概要：

- * 台湾を拠点とする企業（台湾、日本）に対し、日本及び台湾の化学物質管理の最新動向を、NITE及びSAHTECH（NITEのMOU締結機関）から紹介するセミナー。
- * 日台貿易と企業活動を支援することを目的とし、化学品を取り扱う企業等から80名超が参加。
- * SAHTECHからは、化学物質管理に関する台湾をあげての戦略が立ち上がり、それに基づき、食品にも利用のおそれがあるという観点から懸念物質というカテゴリーを導入し、年次報告をさせる毒管法の改正（年次報告は2020から始まる想定。）を含めた最新動向と、それらに遵守するための最新動向の把握の必要性と事業戦略の必要性などを紹介。
- * NITEから、2017年改正化審法の概要、新規審査の合理化、リスク評価を進めるために必要な製造輸入数量届出の様式変更、及び、法規制情報ポータル機能の拡充させるためのCHRIPリニューアルについて紹介。

AsiaHub Summit USA 2019

英国の化学業界誌 Chemical Watchが主催

日時：2019年3月21～22日

場所：アメリカ合衆国 ワシントンD.C.

Park Hyatt Hotel Washington D.C.



会議概要：

- * 米国企業にアジア諸国の化学物質管理にかかわる主要な法律や規則の最新動向を紹介することを目的としたカンファレンスで、化学品を取り扱う企業に加え、機器販売企業も参加。
- * 講演の内容は中国の化学品管理政策に焦点を当てたもので、環境保全、安全生産などの化学物質規制に加え、最近関心が高まる食品接触材、化粧品、および殺生物剤などの規制動向が説明され、米国企業の関心を集めていた。
- * 講演者としては多くの中国系コンサル、P&Gなどの企業に加え、マレーシア、ベトナム、台湾からは政府当局及び関係機関からの講演も含まれる。
- * NITEからの講演は、3月22日のセッション(日本及びマレーシアの化学物質管理法)で、日本の化審法の概要と最新の運用状況、2017年の改正、労働安全衛生法、および日本でのGHS実施について紹介。

海外において理解が難しいと言われている化審法について、ポイントを解説してきました。